

シカゴを訪ねて

ハギシ

シカゴは五八〇平方キロあり、米国第二の都市である。ウィンディング・シテイと呼ばれるだけに風が強い。海のように広いミシガン湖には、ヨットが無数にあり、湖畔から市中全体に巨大なビルが櫛比している。ハイウェイの中央を四輪連結の電車が走っている。ニューヨークの地下鉄と違って清潔な車だ。市中の高架鉄橋には通勤用の二階建て列車が走っている。七六年七月二九日私は舍弟に案内してもらって、ウエブスター通りのIWWを訪ねた。赤煉瓦二階家の一室で、もと商店だ。二年前ここに移ったという。隣りは草花屋だ。ジョーウィンドにIWWの色あせた赤旗が飾ってある。Joe Hillの肖像画やポスターをはじめ、色んなポスターが壁にベタベタ貼ってある。奥に古い小さな印刷機が三台ある。Haywood（一八六九—一九二八年）が一九二〇年に買った印刷機が二台ある。一台はガタがきたが、一台は今も使っている。一九〇五年からの機関紙が保存しており、マイクロフィルムはデトロイトのウェインズタイト大学に保存してある。骨董品の扇風機を回しながら

二〇代の青年数人とオバさん一人が働いていた。ヒゲ

を生やしたメキシカンスタイルの編集長パトリック・マイチン、青服を着たブロードで脂っこい手をしたD・ダブリス、『カナダにおけるIWW』を書いたG・ジュエルと話した。幸徳事件当時、サンフランシスコの在米邦人社会革命党がきたことがあるが、それ以後日本人で訪問したのは私だけだという。

IWWは一九〇五—二五年が最も盛んに活動した時期で、チリだけでも二万五千人のメンバーがいた。二五年のレッドパージで勢力が衰えた。一九五〇年迄、各産業にIWWは組織されていたが、冷戦時のマッカーシー旋風で激減した。更に四七—五〇年に大弾圧され重税を課されて、潰滅状態におちいった。

IWWは歌を重視しており、色んなパンフを作って売っている。闘争時には大合唱させるそうだ。前記のジョー・ヒルはIWWの歌をかなり作った詩人で、ヘイマーケット近くで演説中に撃たれ、一九一五年に死刑になった。首をくぐられている男を描いた小バッチを売っている。一九一七年にアメリカが最後の国として大戦に参加したが、そのとき銅山労働者と製材労働者が反戦ストを起した。そして指導者はみな死刑にされた。これを記念したバッチで、反戦運動のカンパに供している。

アナキストは二〇代と六〇歳以上に分かれ、新旧のギ

ヤップがひどい。各地に小グループが散在している。それらは日本の現状と同じだ。IWWの歴史は、数か月後に出版されるそうだ。……

さて、一八八六年五月四日、ヘイマーケット・スクエアに集まった労働争議団と武装警官隊が衝突し、多くの労働者が殺され傷つけられた。首謀者と見なされた五人が死刑にされ、三人が懲役にされた。有名なメーデーの起源である。所が市の地図にも出ておらず、観光案内所で聞いても知らなかった。IWWに教えてもらって、行ってみた。ランドルフ通りのHaledと、Desplainesの間にあった。昔のままではないが、今もマーケットはある。ハイウェイの上に、何と「アナキスト暴動の犠牲となった七人の警官の記念碑」があった。銅像はいたずらされるので、警察が撤去し、石の台座と銅の碑史だけ残っている。……

最後に、IWWの三人のメッセージを記しておこう。

To a fellow editor and comrade
best wishes. Patrick Martin.

Greetings to our Japanese friends
and fellow workers. David devries.

Solidarity from IWW in Canada.

Gary Jewell.

胃潰瘍入院始末

はしもと・よしはる

何の因果か7月6日以来、埼玉の方である病院に入っている。知り合いに胃潰瘍だと言うと、A飲みすぎでしょVと答が返って来た。だがそうではないんだ。雑誌(文春9月号)によってもこの病気はまさに国民病といっているほどだとある。だとすれば体験者の話は何かの参考になるかと思ひ筆を執る次第だ。

徴候は48年からあった。かかりつけの医師の許でレントゲンを撮るとその時は異常がなかった。胃炎との病名で投薬して貰ったが利目が無い。その内忘れていた。今年に入ってパイプ煙草を吸うとか空腹時に痛みを覚えた。パイプを止めて小康。その内牛乳を飲むと暫く痛まないのを知り、痛む度に牛乳を飲む。多い時で4本くらい。医師の薬は痛み止めにもならず、売薬の緑のくすりも身体に合った。4月になってレントゲン撮影を受け、胃壁に潰瘍のあることがはっきり判る。5月に紹介されたこの病院でレントゲンと胃カメラを飲み、精密検査を受ける。その頃になると仕事で営業に出て街を歩いても、命令するのは胃袋だ。何時頃に薬を飲み、どのあたりで牛乳を飲めば大体何時時間痛みが止むか、計りながらの仕事

〔追記〕IWWの諸君は『リベルテール』と『リベロ』はよく知っていた。また日本の労働がおもに総評と同盟に対峙しており、いずれも政党の支配下にあることも知っていた。なお『リベルテール』に一頁でもいいから英文のアブストラクトをつけてほしい。また、三浦氏によろしく。と伝言された。

鹿兒島の大杉碑

Y

一九二六年に入った頃より鹿兒島県下にA大島郡東方村(瀬戸内町)蘇刈の山中に大杉の死をいたむ二尺あまりの石碑が立っている。表面にはSO、裏には西暦一九二三年九月十六日追悼記念日とだけきざんである。主観者らが、大杉の命日に集まってひそかに建てたらしい：Vといううわさが流れた。県警察高等課長の田中団吉はあわてて現地に乗り込み調査しA同地居住の二、三人が集まって、追悼記念碑を建てようとした事実があった。だが、当局ではいちはやくその事実を探知して、任意に撤廃せしめた。おかげさなうわさなどに、まどわないうほしSVと発表した。

このようなことが鹿兒島にもあったことを記しておく。

(『鹿兒島百年(下)』南日本新聞社編・謙光社刊)

である。自分では食事療法で何んとかーと考え、ウイスキーの水割り一杯で(実質はダブリュの水割程度)痛みが止むと鬼の首でも取った気持。コーヒーを止め煙草を控える。人は教えて呉れた。A胃潰瘍なんて病気のうちに入りませんよ。凍結法で患部を凍らしてしまえば入院しなくても大丈夫VまたA身体に刃物を当てるのは絶対いけません、東京の中野には患部を撫でて、それから黒い汚血を取り出し治す医者があります。ガンだってそれで治るのですよ。紹介しましょうか？V私としてはA宗教を科学に代えよVというバクの文章を信じる積りでいた。そこでニンニクもすって食べてみる、朝鮮人参とクコの手造りの酒も飲んでみる。さっぱり効果が無い。カミサンが言う、Aそんなにして一生食べたい物も食べないで我慢するつもり？Vムニャムニャムニャ、大体二級酒ウイスキーしかあてがわれないから治らないのだ。俺は飲むぞ！G&Gを飲んでみる。吐き気がして水割りが飲めない。ここで覚悟をきめた。切腹である。

7月6日入院の手続きに来る。6人の大部屋で自分のベッドを眺める。周囲の人に挨拶して午後から入床すると言えば看護婦さんは身長・体重・心電図をとると答える。荷物は家人に届けさせよとの事。そうもいかないの

紙を送り、家に帰って身廻品を整え午後2時過ぎ再入院。忽ち手続きをした人は看護婦の許可なくして外出してはいけなと叱られる。6日、13日迄再度レントゲン検査、採血、腎臓検査、肺活量、心電図、尿の検査が続く。食べ物病院用語の7分粥だ。同病相憐みで、隣りのベッドのつけ物屋の主人、向いの市役所職員、その隣りのトラック運転手と親しくなる。皆外では仕事が待っている。一ヶ月は寝ていられないのに40日や20日になる人ばかりだ。一週間以内にこれだけの検査を連続するんだから私は幸運ですぐ出られるでしょうと慰めて呉れる。5日目で手術室は2階だからとして3階の大部屋から2階の2人部屋に移された。差額ベッドで6人部屋だと一日500円、2人部屋で3000円だ。主治医のM氏は中年の赫ら顔で、モミアゲが長く、小柄な人だ。検診の際、私の腹を撫ぜながら問診する。最近聴診器が金属製の丸いペンダントのようなものになっているのに驚く。それが膚にベタリとつくのだ。医師は信頼するしか仕方がない。腕の良い医師に出逢うかどうかは偶然だし、後は当方の生きる意志だと自分に言い聞かせる。幸い看護婦の囁きでは、外科の先生はカッコイイVそうだ。そう外科は切るんだからやるならバツサリやって貰った方がいい。それで安心した。

7月14日回診に来た院長がパリ祭だと言葉を洩らす。午前中に風呂に入ってきたと言われ病院の風呂に入る。浴室は自家風呂と同じ作りだ。そういうえば菅野スガも刑務所での唯一の楽しみは入浴だと言っていた。風呂から出て湯上りを楽しむ暇もなく看護婦が来る名来て、身体へののあたりにカミソリを当てる。鼻からは胃の中のものを取り出すゴムの管が通され、ペニスの方もゴム管で排尿の用意だ。ここでは人間の品位が保てない。すべて動物的機能に還元され、その可否を見極めるのだ。家族が集まり何となく不安そう。男子の看護夫が運搬車を病室に持込む。二人がかりでベッドから車に移され、ガラガラと廊下を走る。まるで冷凍マグロを魚河岸で運ぶような具合だ。カミさんに行ってきたよと挨拶する。麻酔を打たれているので手術室に着く頃から意識がおかしくなる。この部屋はテレビにでてるシーンと同じですね。寒いなあ、凍結して手術するんです？V。ここは冷房しているだけです。私達だってこの通り薄着ですからね。貴方は手術前で身振しているんですよ。看護婦さんの答。蜂の巣状の天井からのライトがまばゆく輝いて1暗転。気がついたら再び自分のベッドの上だった。麻酔が切れるとさすがに傷が痛む。咳をしても左右に向きをかえ

ても上を向いても痛むのだ。15、20、点滴一日6本、4本。手術後3日目6本の点滴には参ったのでささやかに抗議をした。6本のうち2本はみた所栄養剤で、2本は腕腸用と思う。これだと吐瀉(としゃ)へ胃から鼻を通して胃液その他が出る。と下剤をかけられたようなもので朝9時から夜9時迄の苦行は手術以上だ。何とかして欲しいV。これが胃と腸を凍結させるための処置とは後で知った話、さっそく点滴が朝夕計4本になる。それから鼻輪の件だ。これもみた所16日には液がでていたが17日からは出ていない。機能しないものをいつまでもつける必要はないのではないだろうか。主治医先生は土曜日と日曜日に回診がない。とすれば金曜日の状況から判断して指示されたとして日曜日月曜日の患者の状況はご存知ない筈です。早急に指示を仰いで下さい。当方の痛みはガーゼに包んだ氷のかけらで唇を湿す程度で我慢するしかないのです。M先生は火曜日に回診されてすぐ引き抜いて呉れた。ペニスの方は看護婦さんの手で土曜日に抜かれていたのだ。これで一安心。薬による幻想は盲膜一杯に拡がる干しいかのような肉の壁だ。そこをめくると形をなさない。みの虫状のものがうじうじとうごめく。手を眺める。9時消灯の闇の中で、何かうろこか針状のものが生えたように気味が悪い。寝つかれぬまゝに痛み止めを打って貰う。

付添はカミさんにして貰った。

食べ物の幻想もある。わが隣人はカメラ工場の主人でうなぎやとんかつの話をする。ビールが飲みたいと言う。私といえは幼児の想い出が浮び、北鮮の田舎町で食べた満人の作る饅頭だった。看護婦さんが何を一番食べたいかと訊ねる。私はロシア料理のボルシチューだと答えた。それからしきりに想い浮ぶのはバクニンだった。バクニンは立派だ。いい人だと口の中で繰返すのである。これはその後(術後2週間して)「第一インターナショナルとバクニンにまともしました。

7月21日、重湯、ジュース、脱脂ミルクが出た。いわゆる流動食である。トイレは17日から伝え歩きでも自分で済ませることができた。21日抜糸。胃は13を残して切り取り、4時間の手術で、輸血は400ccだったと教えらる。22日再び抜糸、食事は3分粥、牛乳、ジュース、昼はココアも出る。ここまで来ると生きている喜びが噛みしめられるようになる。

病間数吟

白いシーツの上に窓辺射す陽脚を計る
街に病み林の梢望みつつか癒す
赤熱の胃腑悪血したゝらせ除去されぬ

梅雨明けの夕立(7/19)

はたゝ神 声荒けて水しぶき呼ぶか
涼風を簀に残して立去りぬ
わらわ 轡の響きカナカナ鳴いて夏天暮れる
新仏の出た話し聞く今朝の朝

パリではシトワイヤンが戦えり
われ、手術台の冷凍マグロか

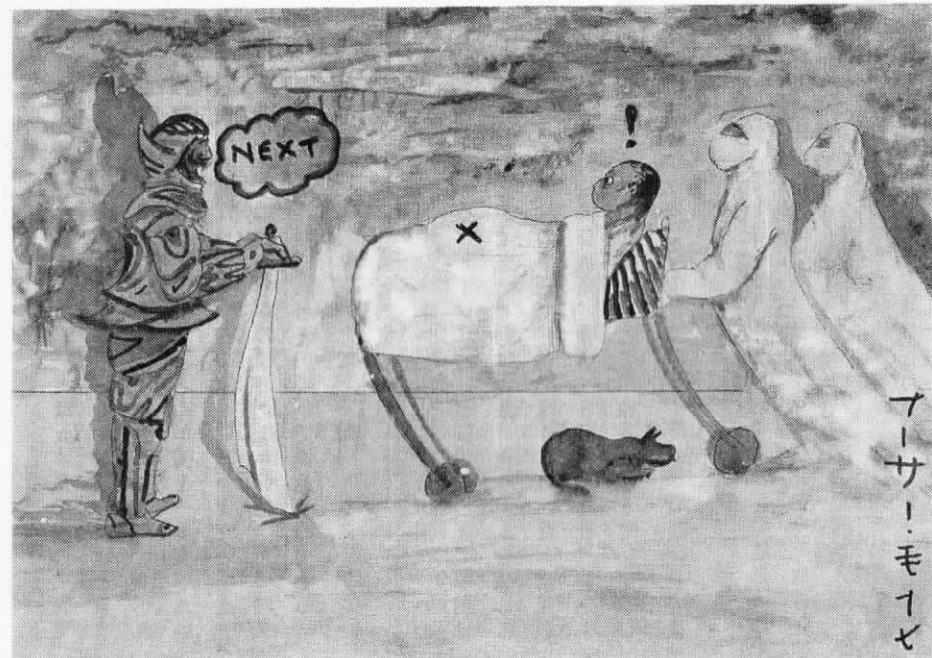
現在は血清肝炎の恐れと術後補強投薬を受け加療中です。退院は8月末になるでしょう。

ロンドンのアーサモイゼから手紙と漫画を貰う。彼地の暑気厳しく、本人は8月7日から一般のツーリストとしてロシアへの旅に出かけるそうだ。

多方面にご心配をかけましたので誌面を借りて、お礼を申しあげると共に近況報告まで。

(付記) なお費用はどのくらいかかるか。

7/11/20日の10日間で計一六万円余、内訳手術代三万七千円、ベッド代三万円、付添ベッド(食事別)四万円他は薬代。これで国民健康保険3割負担です。企業の健康保険加入と老人の医療費無料を推進するよう希望します。輸血は無料だが血は血で償えの方式だから、健康になつたら四〇〇〇ccは献血する積りです。以上



野 火

☆イオム☆雑誌『イオム』が十一号で廃刊することだ。京阪神の人々が集まって発行していたが最近では若い人々と社会人、老人との少なくない断絶が感ぜられ、それが原因となったようだ。地域団体ともみられるイオムの会がこのような形で分解するのは地域団体そのもののあり様と考えてさびしい。ともあれ十一号の発行所を記そう。

神戸市葺合区熊内町一の五の三 イオムの会

五号六号二〇〇円・七号ノ十一号二五〇円 以上残部

☆無辺光二号☆先に無辺光一号を受け取った。それはコピー版で大部のものであった。部数・費用を考えタイプ印刷に変えたようだ。内容は自己の精神世界を鬱屈、生々しさ、銜い、錐のようにグット入る鋭さを求めつついましめできない思惟、それらが自由と関わるところで表現されている。同人も募っている。さらに無辺への光茫は光り続けるだろうか。

豊中市豊南町南二の一の十 平井文化二F奥 持原方

無辺社 三〇〇円

☆あぼりあ五十・五一☆古瀬さんは松江の学校の先生。たべものの会。反公害、森永不買などをやっており、個

人紙として自分の状況を伝え、読者をして自然世界への旅立ちをうながし、同伴者として報告のように『あぼりあ』を出しているようだ。近々婚約し、結婚とのこと、おめでと。

島根県松江市北堀町九二の二 古瀬義夫 五〇円

☆頭脳戦線七月号☆草階さんは何らかの形で毎月詩を中心に情報や近況を発行している。次号からはチラシ状になるとのこと、どう紹介していいかわからないが、できたら秋田の風土を感じさせる近況も知らせたい。

秋田市將軍野南一の十の二八 草階方 頭脳戦線社

送料共一〇〇円

☆コミン・ヒロバ二六号☆ともすると共同体はそれのみで自己完結してしまふ。それは共同体自体が一方で共同性を追求しながら、自給自足的完結社会への意欲の発動として共同体を創作するからである。しかし目的完結社会で満足するならば結局自己満足で終り、他への目くばりを喪失してしまうだろう。コミンとコミンの連合が最も効率的な閉鎖性への打開となるだろう。それは相互依存ではない相互補完にも役立って、パワーとなる。本号は共同体への連合を記している。

大阪市東成区玉津二 東成玉津郵便局留 コミン百人委員会 一〇〇円

われらの バクーニン

—バクーニン死後100年記念特集—

現在、左翼と右翼の区別は大したことでない、戦後民主主義の虚妄性は、ナショナリズムの復権と再発見によって明きらかだと言う。果してそうだろうか。バクーニンが闘ったのは、強権的コミンニズムと共にイタリアの国民運動家マツイーニに代表されるナショナリズムだった。マルクスも普仏戦争後ナショナリスト（汎ゲルマン主義）の一面がある。共通項は自国民の優秀性を賞揚し、その影響力を他国民に振うことだ。だがその前に自国民を国家に隷属させ、他国民を征服する。国家は災厄だ。国家が戦争する。バクーニンはそう呼びかけた。



Mikhail Bakunin

★視聴者通信十七号★放送権は現在独占されている。しかも独占者は資本家と国家である。都合のいいことは放送するが都合の悪いことは無視する。こんなものには受信料を払いたくない、というのが不払の原理だ。更に不払の罰則規定や民放の独立採算（広告収入）等がある。それやこれやでNHKも不払に強硬手段を用いない。しかしこれでは不公平というものではないか。払う人は払い、払わない人は払わないでは。そこで払わない人の方からNHKに公開質問状をつきつけ、回答を求めたりしている。6月には受信料値上げ反対の公開質問状をつきつけた。無答である。NHKはまだ不払が経営に打撃を与えているほどになっていないのでさわらぬ神をきめこんでいるのだ。不払のできる人はNHKの不払を。

小金井市東町四の十五の二九 NHK視聴者会議
送料共七五円

★ほどこむ十二号★ほどこむは反軍の声というエス語（V O O D E (K) O N T R A U M I L I T O）の頭文字をとったもの。立川基地に対する執拗な反軍放送、ビラマキ、立看板撤去斗争、テント村など力強く、日常的に行動を行なっている。軍都から占領軍基地、そして再び軍都に戻さんとする自衛隊進駐、広告塔撤去の策動、テント村攻撃、多忙な中でほどこむは発行されている。

立川市高松町3の3の3 加藤方
立川自衛隊監視テント村 叛軍放送局

★江藤さんはスエーデンのS A Tの大会に出席。次号にその記事が載ると思います。

バクーニン特集、遅れていますが頁数は徐々に増えています。今迄に申し込まれた方の分は別として、これらの分は八百円です。でよろしく願います。

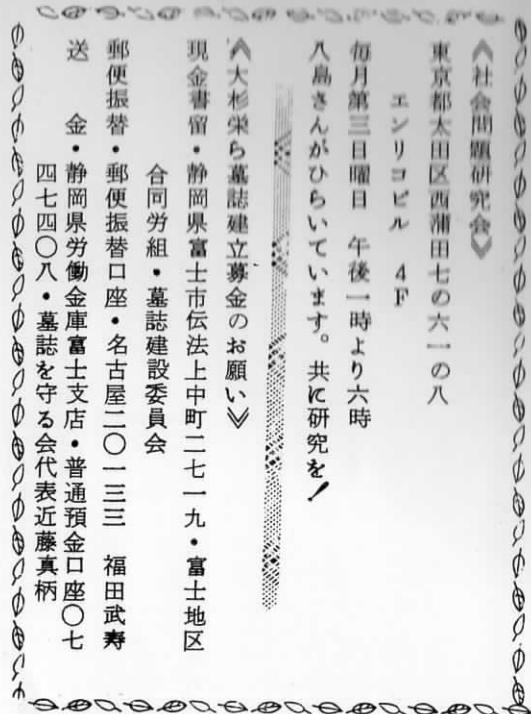
橋本さんは病氣、三浦さんは所用、リベルテールの発行、少しおくれですみません。

リベルテール・サロンは最近寂しい状態です。遊びにきてみて下さい。

編集陣が硬直化しています。若い力をリベルテールの編集に。どうか編集に参加したいという人は来て下さい。むずかしいことはありません。

八月上旬、神戸よりTさん、東京にS Fの大会のためできていろいろ見ていきました。家族論を研究すること、頑張ってください。

H氏、日教組の県の情宣部をやるとのこと。一年か二年位は最低頑張ってみたいとのことでした。



「社会問題研究会」

東京都太田区西蒲田七の六一の八

エンリコビル 4F

毎月第三日曜日 午後一時より六時
八島さんがひらいています。共に研究を！

大杉栄ら墓誌建立募金のお願い

現金書留・静岡県富士市伝法上中町二七一九・富士地区

合同労組・墓誌建設委員会

郵便振替・郵便振替口座・名古屋二〇一三三 福田武寿
送金・静岡県労働金庫富士支店・普通預金口座〇七
四七四〇八・墓誌を守る会代表近藤真柄

人類更生の大道アナキズム研究書

大杉栄主幹・労働運動・第1次〜第4次 復刻	5,000円	何が私をこうさせたか 金子ふみ子獄中手記決定版	2,400円
純正無政府主義 農村社会革命講座八太舟三著	150円	解説：瀬戸内晴美 金子ふみ子歌集	500円
階級闘争説の誤謬 八太舟三著	130円	権藤成郷著作集2 農村自救論・日本農制史談	3,000円
無政府主義組織論 マラテスタ著	700円	大杉栄秘録 増補 堀保子ほか19氏著	1,000円
選挙戦に際して 一付略伝・マラテスタ著	150円	無政府主義論 エンリコ・マラテスタ著	300円
農民の中へ マラテスタ著	200円	ディナミック 石川三四郎個人紙復刻版	3,000円
マフノの農民運動 石川三四郎著	150円	アナキスト革命 ジョージ・バレット著	150円
ベルテロー著ノ山鹿泰治訳		西洋社会主義運動史 石川三四郎著	1,000円
平民の鐘 一無政府の福音	150円	ロシア革命の批判 Aベルクマン著	200円
無政府主義者は答える 岩佐作太郎著	150円	黒色青年 黒色青年連盟機関紙 大正15年	2,500円
石川三四郎ほか三氏著		創刊号より昭和6年終刊号まで復刻	
日本無政府主義運動史 第一編	350円	黒色戦線 アナキズム文芸思想誌 第1次	5,000円
反逆者の牢獄手記 大杉・朴烈ら十二氏著	200円	昭和4年創刊号より終刊号まで復刻	
獄窓から 一増補決定版 一和田久太郎著	800円	労働運動第5次昭和2年復刊号より終刊号復刻	<近刊>
死刑囚の思い出 一増補決定版 古田次郎著	700円	差別とアナキズム・水平社運動と	
一・二皇居発煙筒事件訴訟記録一		アナ・ボル抗争史 宮崎晃著	1,600円
天皇制破壊への渦動	300円	君民共治論 権藤成郷著作集第3巻	3,000円
植谷雄高氏の天皇批判の証言収載		無支配への道 マラテスタ著作集1	300円
雑誌労働運動(大正13年3月号発禁を復刻)		アナキズムのABC ベルクマン著	100円
大杉栄・伊藤野枝追悼号	400円	古事記神話の新研究 石川三四郎選集1	2,200円
漫文・漫画 大杉栄・望月桂共著	1,000円	<解説・石川三四郎論 大沢正道>	
自治民範(全) 権藤成郷著作集 第一巻	3,000円	〒372 群馬県伊勢崎市中町和田 電0270-24-0776	
正義と道徳 クロボトキン著麻生義訳	250円	郵便振替口座 宇都宮 11015 黒色戦線社 大島英三郎	
離波大助大逆事件 虎ノ門で現天皇を狙撃	900円	東京事務所 電03-735-1246	
弁証法的唯物史観の批評 石川三四郎著	150円	〒144 東京都太田区西蒲田7丁目61番8号エンリコビル4階	
無政府主義とサンジカリズム 石川三四郎著	150円	国鉄蒲田駅西口下車、蒲田銀座アーケード街歩いて5分突き当り	
進化と革命 補正版 付石川書簡集		左隣、毎月第2、第4日曜午後1時より4時共学読書会、初心者に公開	
ルクリュ著 石川三四郎訳	150円	販売書店 東京、神田ウニタ・新宿横森寺、吉祥寺ウニタ・	
		早稲田文献堂、京都、中・寺町二条上・三月書房	

ミハイル・バクーニン(1814-1876年)その名は19世紀最大のロシア革命家として世界史に名高い。1864年彼はアナキスト、連合主義者、無神論者としての理念を自己に構築するとともに、英国ロンドンで国際労働者協会が創設(1868年)されるやスイスにおいて活動を開始した。この期の彼の運動はイタリア、スペイン、フランス、ベルギー、スラブ諸国に及び、たまたま協会中枢(総評議会)の頭脳となっていたカール・マルクスと衝突しここに激しいイデオロギー闘争が展開されたのである。バクーニンがヘーゲル哲学の信奉者から出発したのは、彼の初期論文に詳しい。弁証法を自由に駆使して現実の事象を説明することもできた。その彼がマルクスと確執しなければならなかったのは何によるのだろうか。

マルキシストの強権的社会主义とアナキスト自由連合社会主义はどこにどんな差異があるのだろうか。これまでマルキシストの側からするほとんど一方的なバクーニンに対する中傷の中で、不当に軽ろんじられてきた彼の社会思想、革命の実践理論、神と国家、集権制と自由連合制、自由・反逆・社会主义、労働者階級はどうあるべきかを含めて研究の資料になるようアンソロジーを編んだのがこの一書である。

なお本年はバクーニンの死後100年に当たるので、日本において紹介されたこれまでの文献目録、有名な彼のシベリア脱出後立寄った港・横浜での追跡研究。更に内外の感想文を収録して「われらのバクーニン」とした。読者諸兄姉の熟読を期待します。

【内 容】

▶詩われらのバクーニン ●F・エルター

▶バクーニン死後100年

1. バクーニン小伝 M・ネットラウ
2. バクーニンの臨終 A・ライヒエル

▶バクーニンの伝言 編・訳 はしもとよしはる

自己を語る	1848年2月の革命
存在の本質	労働について
哲学的諸問題	西欧の労働者階級
矛盾について	ブルジョワ意識
自由について	政治否定
聖反逆	ブルードンについて
国 家	マルクスについて
科学について	反マツツイーニ
社会主義	ロシア革命

▶付録 第一インターナショナルとバクーニン

- ☆インターナショナルに就てのマルクスの意見
- ☆インターナショナルに就てのバクーニンの意見
- ☆コレクティヴズムと相続権の廃止
- ☆マルクスの極秘文書

- ☆普仏戦争とパリコミューン
- ☆労働者階級の政治参加をめぐる
- ☆バクーニン派の反撃—ソソウイユ会議
- ☆バクーニン追放劇

▶資料・第一インターナショナルとブルードン派、コレクティブ派、バクーニン派団体の会議経過他・ノート

バクーニン文書の集成者たち

梅田順子

▶バクーニンと日本

1. バクーニン紹介の起源 若山健二
2. 日本におけるバクーニン研究の書誌 山本二夫
3. バクーニンと函館・横浜・神奈川 若山健二
4. 「バクーニン全集」の想い出 望月百合子

▶われらのバクーニン

- バクーニン頌 坂入純二編
- バクーニンとルクリュ 三浦精一
- バクーニン寸評 高石 新他

- 体 裁 A5版 200頁前後(写真多数)
 - 発売予定日 9月下旬
 - 定 価 ￥800(郵送料込み)
 - 申 込 先 リベルテールの会
- 東京都練馬区大泉学園町2190
荻原晋太郎 振替東京4-133830